

## 和歌山大学 2025 年度卒業・修了式 学長式辞



和歌山大学の令和 7 年度卒業・修了式にあたり、学部を卒業される 881 名の皆さん、大学院修士課程及び専門職学位課程を修了される 209 名の皆さん、博士後期課程を修了される 4 名の皆さん、誠にありがとうございます。

和歌山大学を代表して、皆さんの晴れの門出を心からお祝い申し上げます。あわせて、今日まで皆さんを温かく支えてこられたご家族の皆様、ご関係の皆様にも、心よりお祝いと感謝を申し上げます。

皆さんが今日を迎えるまでの道のりは、決して平坦なものではなかったはずです。授業、実験、実習、卒業研究、修士論文、博士論文、資格取得、就職活動、課外活動、地域活動、留学や国際交流など、それぞれの場で多くの努力を重ねてこられました。思うようにいかなかった日もあったでしょう。それでも皆さんは歩みを止めず、自分なりに考え、一歩ずつ前に進んでこられました。その積み重ねが、本日の卒業・修了という実りにつながっています。私はまず、その歩みそのものを心から称えたいと思います。

大学で得たものは、単なる知識や資格だけではありません。自ら問いを立てる力、考え抜く力、他者と協働する力、困難に向き合う力、そして最後までやり遂げる力です。

社会は今、大きな変化の中にあります。AI やデジタル技術の進展、人口減少、地域課題、環境問題、国際情勢の不安定化など、私たちは正解が一つではない時代を生きています。だからこそ求められるのは、覚えた知識をそのまま使う力ではなく、自分の頭で考え、他者と対話し、よりよい道を探り続ける力です。皆さんは和歌山大学で、その力をしっかりと培ってこられました。

そのことは、外部からの評価にも表れています。日経 HR の「価値ある大学 就職力ランキング 2025-2026」において、和歌山大学は「卒業生が活躍する大学」として全国 24 位、近畿 4 位という高い評価を受けました。また、「大学の人材育成力ランキング」でも全国 5 位に位置づけられています。これは大学

に対する評価であると同時に、和歌山大学で学び、社会で力を発揮してきた先輩方、そしてこれから社会へ巣立つ皆さんへの期待の表れでもあります。どうか、和歌山大学で学んだことに誇りを持ち、自信をもってそれぞれの道を歩んでください。

和歌山大学は、「未来を切り拓く知の舞台」を掲げています。皆さんはその舞台の上で、自分自身を鍛え、可能性を広げ、仲間と出会い、多様な価値観に触れながら成長してきました。和歌山という地域に根ざした学びの中で、地域社会と関わりながら学んだ人も多いことでしょう。現場に出て、人々の思いに触れ、社会の課題の複雑さを知った経験は、教室の中だけでは得ることのできない貴重な財産です。大学で過ごした日々は、これからの人生を支える確かな土台となるはずです。

これから皆さんが進む道は、一人ひとり異なります。企業や官公庁で働く人、教員となる人、専門職として現場に立つ人、研究を続ける人、海外に目を向ける人、地元や地域社会に貢献していく人。進路はさまざまであっても、共通して大切にしてほしいことがあります。それは、学び続ける姿勢を失わないことです。大学を卒業することは、学びの終わりではありません。むしろ、ここからが本当の学びの始まりです。社会に出れば、新しい課題が次々と現れます。自分の知識や経験だけでは対応できない場面にも出会うでしょう。しかし、それを恐れる必要はありません。分からないからこそ学ぶ。うまくいかないからこそ考える。その姿勢こそが、人を成長させます。

ここで、皆さんに一つの言葉を贈ります。

エレノア・ルーズベルトは、

「未来は、自分の夢の美しさを信じる人のものである」

と述べています。

私はこの言葉を、今日の皆さんに贈りたいと思います。夢というと、何か特別に大きな目標のように聞こえるかもしれませんが。しかし夢とは、自分はどう生きたいのか、どのような人間でありたいのか、どのように社会と関わりたいのかという、自分自身の志でもあります。大切なのは、他人と比べることではありません。自分の中にある思いを大切にし、それに向かって誠実に努力を重ねることです。その積み重ねが、やがて自分の未来を形づくっていきます。

同時に、成功だけでなく失敗もまた、人生にとって大切な学びであることを忘れないでください。失敗は終わりではありません。挑戦した証です。うまくいかなかった経験の中にこそ、自分を成長させる大切な材料があります。思い通りにならないときでも、そこで投げ出さず、もう一度立ち上がることのできる人は強い。和歌山大学で学んだ皆さんには、その力があります。

そして、もう一つ大切にしてほしいのは、人とのつながりです。大学時代に出会った友人、先輩、後輩、先生方、地域の方々とのご縁は、かけがえのない財産です。社会に出ると、自分一人で頑張らなければならないと思う場面もあるかもしれません。しかし、本当に大きな仕事や困難は、一人だけでは乗り越えられません。人と支え合い、信頼関係を築き、共に成長していくことが、人生を豊かにし、自分の力をさらに大きくしてくれるはずです。大学で育んだ絆を、これからも大切にしてください。

和歌山大学は、「学びと well-being の調和」を大切にしています。どれほど優れた能力を持っていても、心と身体の健康が損なわれれば、その力を十分に発揮することはできません。忙しい時代だからこそ、自分を大切に、周囲の人を思いやる心を忘れないでください。誠実であること、感謝を忘れないこと、相手の立場を想像できること。こうした人間としての基本が、長く信頼される人をつくります。知識と人間性の両方を育ててきた皆さんなら、きっと社会の中で温かな力を発揮してくれると信じています。

卒業生、修了生の皆さん。

今日の卒業・修了は、終わりではなく、新しい出発です。皆さんは和歌山大学で、知識を学び、経験を積み、仲間を得て、自分の可能性を広げてきました。その歩みは、誰かと比べる必要のない、皆さん自身のかげがえのない歩みです。どうか自信を持ってください。皆さんは、和歌山大学の誇りです。

最後に、どうか今日という日を、自分一人の力だけで迎えたのではないことも忘れないでください。支えてくれたご家族、友人、教職員、地域の皆様に、ぜひ「ありがとうございました」と伝えてください。その一言には、大きな力があります。

皆さんの前途が希望に満ち、実り豊かで、そして多くの人の幸せにつながるものであることを、心から願っています。

本日は、誠におめでとうございます。

令和 8 年 3 月 25 日

和歌山大学 第 18 代学長 本山 貢